

日 曜 議 会

日 時 平成24年12月2日（日）午前10時～午後6時59分
 内 容 一般質問（質問内容は下表のとおりです。なお、進行の具合により発言時間が異なることもございますので、あらかじめご了承ください。）
 問 合 先 議会事務局（電話 042-387-9947）

発言時間	氏名	発言の表題
10:00 ～10:19	中山克己	1 借用期間満了による武蔵小金井駅北側の自転車駐車場対策について (1) 武蔵小金井北第2自転車駐車場用地返還に向けての対策は (2) 暫定自転車置場開設工事の時期と規模は (3) 中央線高架下利用を含めた今後の自転車駐車場の整備計画は
10:20 ～10:39	露口哲治	1 各種審議会や委員会の経費削減について問う。財政難の小金井市だから、会議に係る経費は減らそう (1) 審議会や委員会の数と委員数の削減を求める (2) 審議会委員報酬や委員会謝礼の削減を求める
10:40 ～10:59	小林正樹	1 高齢者インフルエンザ予防接種について (1) 接種状況とアピール方法について (2) 公費助成期間を延長しないか (3) 接種医療機関を市外の医療機関（東京都内）に拡大しないか
11:00 ～11:19	村山秀貴	1 武蔵小金井駅南口再開発第2地区における市の方針を問う (1) 組合施行となった経過について。「新南口地区街づくりの会」から準備組合設立へ。事業協力者の決定～今後のスケジュールと進捗状況の確認 (2) 市の役割について。市の姿勢と方針の確認。どのような支援を、どのように行うのか
11:20 ～11:39	宮崎晴光	1 小金井市の地域コミュニティーを活性化しよう (1) 「小金井のまち文化」を受け継ぎ発展させよう (2) 町会・自治会を通じた取り組みを
11:40 ～11:59	武井正明	1 空き家条例制定の検討は進んでいるか (1) 市内老朽家屋の現状と対応はどうなっているか (2) 空き家調査委託は進んでいるのか (3) 強制権限を付与した実効ある条例の制定を
13:00 ～13:19	鈴木成夫	1 小金井市の市民協働、公民連携のあり方を問う (1) 市民協働支援センターの将来像 (2) 子育て・子育て支援ネットワーク協議会の今後の展開
13:20 ～13:39	青木ひかる	1 この計画ではリース庁舎を解消できない (1) 市が11月15日の庁舎建設等調査特別委員会に示した新庁舎建設計画の特徴について (2) 警察署跡地を売却し、計画的に基金を積んで2015年度までに新庁舎を建設すべきだ

13:40 ～13:59	宮下誠	<p>1 国民健康保険制度における財源捻出とデータの効果的活用について</p> <p>(1) レセプト（診療報酬明細書）データは有効活用されているか</p> <p>(2) 広島県呉市の取り組みを参考に、被保険者に対し、ジェネリック医薬品との差額通知をおこなわないか</p> <p>(3) 健康課との連携を進めるなど、縦割り組織を超えた取り組みをおこなって、市民の健康増進をはかっていかないか</p>
14:00 ～14:19	篠原ひろし	<p>1 「財政支出ゼロで新庁舎建設」を参考例にしよう</p> <p>(1) 「財政支出ゼロで220億円の新庁舎を建てる」と題した豊島区役所の庁舎建設に至る経過が詳しく書かれた本が出版された。財政危機にある我が市が新庁舎を建設するとなれば、市資産の活用と民間の建設手法を組み入れて財政負担を最小限にとどめる知恵と工夫を考えるべきである。全国初の先進事例を参考にして庁舎計画を抜本的に見直すことを提案する。</p>
14:20 ～14:39	関根優司	<p>1 武蔵小金井駅周辺の小金井街道の整備と駅北口の整備について</p> <p>(1) 小金井街道の拡幅整備について。スケジュールはどうなっているか。東側の歩道の拡幅の予定はあるのか。信号と横断歩道はどうなるか</p> <p>(2) 駅前広場の計画とスケジュールについて</p> <p>(3) 駐輪場の計画について</p> <p>(4) 北口再開発の計画内容と市の財政負担について。市の財政負担の見込は。過大な計画内容で最終的に市が床を買うことがないように</p>
14:40 ～14:59	水上洋志	<p>1 ココバス北東部循環の充実を</p> <p>(1) 2ルート化にむけたスケジュールを明らかにして、地域の声を反映したルート設定を求める</p> <p>(2) バス運行時間の延長など市民の要求にこたえた改善を</p> <p>2 東大通りなどに自転車専用レーンの設置を求める</p>
15:20 ～15:39	遠藤百合子	<p>1 市民との協働のあり方について具体的な前進を。市民協働の推進に向けて、小金井市市民協働のあり方等検討委員会から「小金井市における市民協働及び（仮称）小金井市市民協働支援センターのあり方等について」平成24年3月に答申が出ている</p> <p>(1) 職員への研修の実施及び内容について</p> <p>(2) 担当部署の明確な位置づけと今後の方針は</p> <p>2 ハケの自然を大切に守っていくために約320万円が団体の自助努力で集まっている。キンヒバリの里に立地する約50坪の民地を市として買うつもりはないか</p> <p>3 貫井南町、貫井北町にまたがる弁天通り踏切後の高架下近辺が非常に危険である</p> <p>(1) 高架下が暗いので明るくする工夫を</p> <p>(2) 信号設置の要望が出ている。その後の進捗状況は</p>

15:40 ～15:59	板倉真也	<p>1 就学援助「準要保護」児童生徒の支給費目の拡大を</p> <p>(1) クラブ活動費・生徒会費・PTA会費を「準要保護」児童生徒の支給費目にした場合、総額でいくらになり、そのうち地方交付税でどれくらいまかなわれるのか</p> <p>(2) 現在、小金井市に交付されている地方交付税額には、「準要保護」児童生徒のクラブ活動費・生徒会費・PTA会費が交付税算定額に含まれていないと理解してよいか</p> <p>(3) 現行の小金井市「就学援助費支給要綱」の支給費目の記載内容は、正確なのか</p> <p>(4) クラブ活動費・生徒会費・PTA会費を「準要保護」児童生徒の支給費目を含めよ</p>
16:00 ～16:19	渡辺ふき子	<p>1 小金井市の東部地域に、子育て支援と市民のいこいの施設を。東小金井地域の公共用地を利用し、子育て支援施設を拡充し、何時でも誰でも、子どもを遊ばせたり情報交換できる施設や、市民が気軽に集い合える交流の場が必要になっている</p> <p>(1) 交流施設に児童館を併設し、常設型の「子育てひろば」を設置しないか。放課後や休日に、子どもたちが安全に遊べ、活動できるスペースが必要。子育ての相談をしたり、幼児を安心して遊ばせながら、保護者同士の交流も図れる施設が必要</p> <p>(2) 学生や市民がゆっくり語り合い、勉強したりできるスペースを確保すべき。喫茶スペースや図書館機能を有する施設。介護予防体操やストレッチなど、健康の増進につながる施設</p>
16:20 ～16:39	田頭祐子	<p>1 子ども参加で、いじめのないまちへの取り組みを。藤沢市がNPOと共に推進している「いじめ防止プログラム」を導入しないか</p> <p>(1) 都が行ったいじめの緊急調査や、「いじめのないまち宣言」のその後の対応は</p> <p>(2) 「いじめ防止プログラム」で、子ども同士が支えあうシステムを作らないか</p>
16:40 ～16:59	漢人あきこ	<p>1 パパ・クォータ制。男性職員の育児休暇の義務化で意識改革の促進を</p> <p>(1) 「小金井市職員次世代育成支援プラン～子どもの未来を育むために～」の「具体的な支援策」の実施状況と方針</p> <p>(2) 「子育て支援」「男女平等」の施策を進める自治体職員としての資質を高める意味でも有効なパパ・クォータ制を導入しないか</p>
17:20 ～17:39	紀由紀子	<p>1 災害時における栄養・食生活支援について</p> <p>(1) 小金井版「災害時の栄養・食生活マニュアル」を作成しないか</p> <p>(2) 平常時から災害に備え、市民に講習会や広報等で、情報提供を行わないか</p> <p>(3) 防災訓練等において、備蓄倉庫の公開や炊き出しやアイデア料理等を展示しないか</p>

17:40 ～17:59	森戸洋子	<p>1 待機児の解消と保育の新システムについて市の見解を問う</p> <p>(1) 待機児の解消は急務。先に市議会厚生文教委員会に示された待機児解消方針について問う</p> <p>(2) 保育新システムについて市の見解を問う。「待機児解消方針」では、「新たな手法を研究し、柔軟に取り組む」としているが、今後の具体的方向性について</p>
18:00 ～18:19	中根三枝	<p>1 スポーツ祭東京2013について。平成25年9月28日から10月14日まで東京都で行われる事業が都民、市民に周知されるように</p> <p>(1) 気運醸成のためにどのような事業が計画されているか</p> <p>(2) ゆりーとダンサーズの規模と活用はどのようにされるのか</p> <p>(3) マスコットキャラクター「ゆりーと」の命名者は小金井市在住の小学生だ。他に対しても誇れることなので表彰し、活用してはいいかがか</p>
18:20 ～18:39	渡辺大三	<p>1 市役所の管理職の人数について</p> <p>(1) 小金井市役所の管理職（係長含む）の人数が、東京多摩地区の同規模の自治体に比べてかなり多くなっている。その原因はどこにあるのか</p> <p>(2) 退職管理者の不補充（または補充抑制）などの手法で、来年度当初から段階的に削減すべきだと思うが市長の考えはいいかがか</p> <p>2 市役所の職員定数について</p> <p>(1) 先般、条例上の職員定数と実際の職員数に相当の乖離（かいり）があるので、条例定数を実態に合わせて削減する改正条例案を提出するよう求めた所である。しかし、今定例議会に提出は予定されていないようである。市長に本年度中の提出意思がないのであれば、議員提案も視野に入れることになるが、市長の考えはいいかがか</p>
18:40 ～18:59	片山薫	<p>1 小金井の生活困窮者の支援を考える。小金井には無料低額宿泊所の他、簡易宿泊所も多くあり、生活保護受給者がやむを得ず暮らしている場がいくつもあります。パッと見た目には、町の中にはホームレスの姿も見えず中流家庭が多いと言われ、生活困窮者などいえないように見えます。しかしその陰で、簡易宿泊所でお母さんがお子さんとともに心中するという痛ましい事件が起こってしまいました。2011年、児童養護施設退所者のアフターケア相談所「ゆずりは」がオープンしました。施設を出た若者たちの他にも、生活困窮者の様々な相談にも応じています。行政と民間がどう連携すれば、有効な支援ができるのか、埼玉県的生活保護者支援のアスポート事業などを参考に伺います</p> <p>(1) 生活困窮者の実情は。無料低額宿泊所と簡易宿泊所の現状把握について</p> <p>(2) 生活困窮者への相談体制について、民間との連携体制は</p> <p>(3) 埼玉県のアスポート事業を参考に、住宅ソーシャルワーカーなどの取り組みを</p>